

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会

令和3年度事業に関する評価報告書

令和4年12月

目 次	頁
1. 趣旨	1
2. 調査・評価の対象と方法	2
3. 総括	3
4. 基本計画と対象事業の関係	4
5. 評価シート	5
参考資料	22
1. 逗子文化プラザホール 令和3年度自主文化事業一覧	
2. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会規則	
3. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 委員名簿	
4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程	

1. 趣旨

逗子市文化振興条例（平成 21 年 10 月）（以下、「条例」という。）では、「文化創造の主役は市民であり、市民は文化を創造し、享受する権利を持つことを市は認識しなければならない。そのために、市は市民の文化活動を広く支援し、必要な環境を整備する使命を負っている。」（前文より）と述べ、市の責務として「市は、文化活動を行う市民、団体及び事業者と協働し、地域における人材、資源、情報等を活かして、文化の振興を図るものとする。」（第 4 条第 3 項）と定めている。この条例は、制定の際に様々な検討が重ねられた結果、文化を独立した行政分野として位置付け、その振興に取り組むべきであることを指摘し、文化における市民の権利を明文化するとともに、市の文化振興施策の基本方針を定め、市の責務をより明確に示したものである。

これに基づき、「文化振興施策を総合的かつ計画的に推進するため」に『逗子市文化振興基本計画（平成 23 年 3 月策定、平成 27 年 3 月改訂）』（以下、「基本計画」という。）を策定した（条例第 5 条）。そこで「地域の文化を市民の手で拓く」を基本方針として、6 つの「施策の柱」のもと、18 の「基本施策」を体系化している。

また、「基本計画の推進に当たって、基本計画に基づく施策、事業等が的確に実施されているかどうか等について、調査、評価等を行う組織を設置するもの」（条例第 7 条）とされ、平成 24 年度に文化振興基本計画調査・評価委員会（以下、「委員会」という。）が発足した。この組織は、「基本計画の内容及び基本計画に基づく施策、事業等の評価、見直し等について調査、検討を行い、その結果に基づき市に提言するもの」（条例第 7 条第 2 項）とされている。

令和 3 年度の評価に当たっては、前年度に引き続き、基本計画の 6 つの「施策の柱」とそれぞれの施策の柱の下に位置付けられた「基本方針」が、令和 3 年度中に実施された事業によってどの程度実現できたか、という視点から評価するとともに、上記の事業のうち、基本計画の上位計画である逗子市総合計画実施計画及び基幹計画「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」の対象事業として位置付けられているものについては、計画上での目標を示し、達成状況を評価の中で考慮している。

今後、この評価報告書を踏まえ、基本計画に基づく施策や、事業がよりの確に実施され、市の文化振興施策が市民に資するものとなることを願っている。

2. 調査・評価の対象と方法

令和3年度は、令和2年度の調査・評価の方法（平成29年度に評価方法変更、平成30年度に評価事項追加）を継続することとした。

評価に当たっては、6つの「施策の柱」毎の評価シートを設け、「基本施策」が掲げる目標に対し、対象事業の取組みの結果と、文化振興所管課（文化スポーツ課）の自己評価を求め、それに対する本委員会としての評価を行った。評価は、実現度合いを以下の3段階で評価したうえで、意見を述べることとした。

- a. 順調である。
- b. 概ね順調である。
- c. 順調であるとみなせない。

令和3年度は、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の影響により、事業の縮小を余儀なくされたため、評価にも大きく影響している。令和元年度までと同等の内容を実施できていない事業についても、実施可能な方法を検討したことについては一定の評価を示している。各事業のコロナの影響に関することは、該当する「施策の柱」毎の評価シートに記載している。

3. 総括

「1. 趣旨」に記したとおり、基本計画は、基本方針「地域の文化を市民の手で拓く」の下に6つの「施策の柱」を掲げ、本委員会ではこの6つの「施策の柱」に沿って毎年度の評価を行っている。また、基本計画の推進に当たって重点的に取り組むべき事業として4つの事業が挙げられており（6つの「施策の柱」との関係は次ページ参照）、平成27年度（2015年度）から令和4年度（2022年度）までの8年間の計画期間を3期（平成27年度～平成28年度、平成29年度～令和元年度、令和2年度～令和4年度）に分け、具体的な行動計画が策定されている。本来であれば、令和5年度に基本計画が改定される予定であったが、上位計画である基幹計画の改定が1年延期されたことに伴い、現基本計画も1年延期となった。これを受け、この報告書では、本委員会として改めて計画策定（改定）に向けて提言したい。

令和3年度も、コロナ拡大に伴い、多くの市民の文化活動が事業の中止・変更を余儀なくされ、市内の文化活動の拠点である逗子文化プラザホール（以下「ホール」という。）は、休館したり制限下での運営となった。様々な制約の中でも、市や施設として適切な対応を講じ、市民の文化活動の継続や再開に繋がっている点は評価したい。一方で、今後は特に次の点についての検討が重要と考える。

一点目は、逗子アートフェスティバルが、より市民主体で継続可能な形で発展し定着していくための支援のあり方の検討である。逗子アートネットワークが、逗子アートフェスティバルの企画運営を行う市民主体の体制となった結果、地域文化の担い手の育成や市民の文化活動の活性化に貢献する事業に成長してきている。それにより、作家の参加は増加しているが、運営を支える事務的な機能と最低限の財源確保が課題となっている。今後は、計画改定に伴い、市として逗子アートフェスティバルの位置付けを再考し、予算措置も含めて開催方法等の検討を行う必要があると考える。

二点目は、地域の多様な文化資源、特に歴史的な文化資源や逗子に関わる近代文学に関するものの調査・保存継承・活用の仕組みづくりである。昨年も指摘したが、これまで進展が見られなかった逗子アーカイブスやデジタル化も踏まえた郷土資料の保存・公開について、改めて適切な方法を検討する必要がある。逗子アーカイブスについては、逗子フォト事業を踏まえた長期的な計画の策定や、関係部署との連携・協力の体制づくり等を期待していたが、具体的な取組みに繋がらなかった。計画の改定に当たり、市民や民間事業者との連携等も視野に入れ、市として実現可能な方法を検討してほしい。

三点目は、「文化芸術基本法」や「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」等の制定を踏まえた関係部署の情報共有と連携・協力の仕組みづくりである。いずれにおいても、国・地方公共団体・文化芸術団体・文化施設・社会福祉法人・教育研究機関・企業等の民間事業者等との連携及び協働による、文化芸術に関する施策のさらなる推進が求められている。庁内に限らず、近隣市町等との連携の仕組みづくりも検討しながら、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等、文化芸術に関連する幅広い分野も含めた施策の推進に努めてほしい。

四点目は、コロナをはじめとする新型コロナウイルス感染症や、今後気候変動等で予想される自然災害等に対し、ホールの安全な運営と、市民の文化活動を、維持・発展させていくための基本方針の確立である。ホールは、令和4年度で設置から18年目を迎えた。今後は、施設の老朽化に伴って計画的に整備・改修等を実施し、利用者が安心して活動できる環境づくりを行っていく必要がある。ハード面での環境づくり以外にも、市としてコロナやこれまでの自然災害等の経験を踏まえ、広くリスクマネジメントという観点から基本方針を確立することで、常に市民の文化活動が維持・発展できる環境が整えられることを期待する。

最後に、今後は、市民の文化に対する意識調査やヒアリングを行い、市民の文化活動に対する関心の有無や関わり方等、市として現状を把握する必要があると考える。特に、コロナ禍で社会情勢が大きく変わり、新たな文化活動の在り方を検討する時期にきている。現在の計画とこれまで実施してきた施策が、市民の文化活動に及ぼした効果を適切に把握することで、次期計画がより市民の文化活動に寄与するものとなることを期待する。

4. 基本計画と対象事業との関係

6つの施策の柱と基本施策	
(1) 地域文化の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもたちの文化創造体験の拡充 ②市民のアートリテラシーの向上 ③地域文化振興の担い手育成
(2) 市民文化活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ①市民文化活動への支援の拡充 ②市民による市民のための文化振興の仕組みづくり ③市民参画・協働型事業の充実
(3) 文化芸術に接する機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ①鑑賞機会の拡充 ②体験や参加、参画機会の充実 ③文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ
(4) 文化資源の活用による地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ①逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展 ②豊かな自然環境の活用 ③人的資源の発掘と連携
(5) 文化情報の収集と活用	<ul style="list-style-type: none"> ①情報の収集・発信 ②情報のネットワークづくり ③(仮称) 逗子アーカイブスの構築
(6) 文化振興のための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ①行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備 ②施設・整備の充実など ③近隣市町との交流・連携

対象事業等一覧	
文化スポーツ課の所管する事業等	各事業等に該当する 6つの施策の柱と基本施策
1 文化プラザホール維持管理事業	
文化プラザホール指定管理	
自主文化事業	(1) ①③ (2) ①③ (3) ①②③ (4) ③
ホールの運営(貸館等)	(5) ①
ホールの維持管理	(6) ②
2 文化プラザホール整備事業	
工事、修繕	(6) ②
3 文化活動振興事業	
文化振興基本計画策定・推進会議	(5) ③
文化振興基本計画調査・評価委員会	
逗子アートフェスティバル	(1) ②③ (2) ②③ (4) ③
逗子市文化祭	(1) ③ (4) ①
他部課の所管する事業等	各事業等に該当する 6つの施策の柱と基本施策
スマイル講座(子育て支援課)	(1) ①
生涯学習講座事業(市民協働課)	(1) ② (3) ②
社会教育講座(社会教育課)	(1) ② (3) ② (6) ③
旧郷土資料館の活用について(緑政課)	(4) ① (6) ①
自然の回廊プロジェクト推進事業(経済観光課)	(4) ②
逗子フィルムコミッション(経済観光課)	(4) ②
共育ポータルサイトの運用(市民協働課)	(5) ②
逗子フォト事業(企画課)	(5) ③

【基本計画重点事業1】
『逗子アートフェスティバル』の継続
<リーディング事業>

【基本計画重点事業2】
アウトリーチ活動の充実

【基本計画重点事業3】
文化振興のための環境づくり

【基本計画重点事業4】
『(仮称) 逗子アーカイブス』の構築

5. 評価シート (前)は前年度(令和2年度)実績)

施策の柱	(1) 地域文化の担い手の育成
地域の文化は市民が継承し、創造し、発展させるものと捉え、担い手を育成するために、文化への理解・関心の向上と活動への参画を促し、地域文化振興に必要な専門知識を持った市民を増やす。特に、吸収力旺盛な青少年期における文化との接触による次世代の担い手育成を図る。	

個別計画での基本施策と令和3年度の事業概要

① 子どもたちの文化創造体験の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育と連携しながら、子どもたちに対する芸術に触れる機会や文化・芸術教育を充実させます。 ○ 地域において多世代との交流を通じた、地域の文化体験など、地域生活における文化接触を豊かにしていきます。 ○ ホール自主文化事業において創造体験ができる機会を充実させます。
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アート便 2021 2メニュー(落語、和太鼓)提供。市立小中学校8校、授業数11件を実施。児童・生徒延べ869人参加。 前)2メニュー(落語、和太鼓)提供。市立小中学校6校、授業数8件を実施。児童・生徒延べ659人参加。 ● 絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう 2021 こどものための手作り絵本講座 6月19日(土)、7月11日(日)、31日(土)、8月28日(土)2クラスで開催。68人参加。 前)1月30日(土)、31日(日)、2月7日(日)、3月21日(日)2クラスで開催。64人参加。 ● 和太鼓グループ彩-sai-逗子公演 Vol. 3 10月9日(土)なぎさホールで開催。449人来場。逗子開成高等学校和太鼓部と共演した。共演に向けて和太鼓グループ彩-sai-による事前指導を6回実施し、プロの技術や演奏を直接学べる場を設けた。 前)391人来場。事前指導7回実施。 ● 講座 コンサートの作り方 10月22日(金)、29日(金)に県立逗葉高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、25人参加。ホール事業課担当と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールにおける公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目は公演制作のワークショップを行った。 前)10月19日(月)、26日(月)に逗子高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、20人参加。 ● おもしろ工作アニメ〜マジックンロールを作ろう!〜 12月4日(土)、5日(日)アニメーションの仕組みを学ぶワークショップをギャラリーで開催。37人参加。 <p>【逗子市文化協会によるスマイル講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学生から高校生を対象とした、逗子市文化協会による講座。(子育て支援課) ダンス(6回)、茶道(4回)、バレエ(3回)を開催。コロナ拡大防止のため、和楽器(6回)、日本舞踊(5回)、囲碁(4回)中止。 前)コロナ拡大防止のため全講座中止(和楽器6回、日本舞踊3回、いけばな4回、ダンス6回、囲碁4回、茶道6回、バレエ4回、アート4回を予定)。
② 市民のアートリテラシーの向上	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 逗子の伝統文化、歴史的資産はもとより、様々な文化に関する教養講座などを実施し、市民の文化に対する興味や知識を向上させます。 ○ 学ぶことと創造すること、市民協働を進めながら、生涯学習と文化振興を連携させ、幅広い視野や包容力ある人材を育みます。 ○ 団塊の世代が地域に戻り、地域文化活動に参画していけるような機会を設定していきます。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバル(ZAF)2021の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10月15日(金)~11月14日(日)、12月3日(金)~5日(日)の二期制で開催。全22企画(うち自由企画10企画)。企画者及び来場者数6,586人。 前)全14企画(うち自由企画7企画)。来場者数12,121人。 ● 企画運営は「逗子アートネットワーク(ZAN)」のメンバーが中心となって行った。

<ul style="list-style-type: none"> ● ZANは共同代表制とし、3人が代表を担った。 ● シェアサイクルとの連携により、市内各所で開催されるイベントを回遊できるよう工夫した。 <p>【市民による文化事業への後援、協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 協力2件、後援22件 合計24件（うちコロナ拡大防止のため1件中止） <small>前</small>共催1件、協力6件、後援20件 合計27件（うちコロナ拡大防止のため13件中止、1件延期） <p>【文化に関する講座の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民交流センター主催の生涯学習講座事業9講座開催。（市民協働課） うち、ずし楽習塾講座は6講座16回。参加者延べ546人（オンライン受講含む）。 <small>前</small>市民交流センター主催の生涯学習講座事業4講座実施（市民協働課）。うち、ずし楽習塾講座は1講座4回。参加者延べ193人。 ● 社会教育講座3講座実施（文化芸術関連）、参加者延べ115人。（社会教育課） <ol style="list-style-type: none"> (1) 松平定信と相州巡見～谷文晁「鑑摺浜図」 (2) 池子神明社神輿の特質 (3) サードエイジ連続講座① 逗子の歴史を学びま専科「三浦一族末裔が語る逗子と鎌倉殿」 <small>前</small>社会教育講座5講座実施（文化芸術関連）、参加者延べ150人。（社会教育課）

③ 地域文化振興の担い手育成	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域において、文化事業の企画や制作、運営を担ったり、専門知識や技能を発揮したり、ボランティアやサポーターで参画したり、地域文化を推進していく人材の育成に取り組みます。 ○ 青少年や若年層の活力を積極的に取り入れます。 ○ 市民、来訪者に関わらず、市内で文化活動を行う人々の参画と参加により、交流のなかで、文化活動を活性化します。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバル2021自由企画、ボランティア活動、逗子アートネットワークメンバーの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自由企画の公募を行い、10企画が参加。ボランティアは公募等をせず、逗子アートネットワークの参加者と過去のボランティア参加者で行った。 <small>前</small>自由企画7企画参加。 ● 逗子アートネットワークのメンバーが、世界最大級の現代美術展「documenta fifteen（ドクメンタ15）」に招待されたことを受け、「逗子のまちとアートを考える“ドクメンタ壮行会”」を開催。逗子アートフェスティバルでの活動を通じたまちの持続可能性と、逗子のまちのアートとコミュニティの在り方をテーマに、パネルディスカッションを行った。

※新型コロナウイルス感染症の影響	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態宣言中は原則臨時休館とし、新規予約を停止（予約済みの利用のみ時間制限を設けて利用可）。まん延防止等重点措置対象区域の際は、開館時間や利用人数等を制限して開館。その他の期間も、市内の感染状況等に応じて一部利用制限のうえ開館。 ● 「絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう2021 こどものための手作り絵本講座 ミニ展覧会」の日程変更。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子市文化協会によるスマイル講座を6講座中3講座中止。 ● 第70回逗子市文化祭（逗子市文化協会）を令和4年度に延期。 ● 神奈川県立近代美術館葉山との連携による美術講座（社会教育課）の中止。
------------------	--

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】</p> <p>アート便は、感染症対策を講じて市立の全小中学校で実施することができた。また、市内の一部高等学校では、プロからの事前指導や、ホール事業課担当と舞台技術担当者による講座を通じ、コロナ禍でも文化に触れる機会を提供することができた。</p> <p>逗子アートフェスティバル2021は、コロナの影響で中止とした企画もあり、例年どおりの参加や来場を見込めなかったが、SNSでの広報活動や、動画配信等により、イベント</p>
-------------	---

	<p>を知らない人や来場できない人に向けても広く参加を促すことができた。自由企画も公募する等、様々な広報活動により、本企画、自由企画のいずれも新たな参加者が参加し、全体の企画数が増加した（令和2年度14企画→令和3年度22企画）。</p> <p>【見直すべき点】</p> <p>アート便については、市立小中学校に留まらず、保育園や幼稚園、高齢者施設等でも実施できるよう、コロナの状況を踏まえて検討していく。</p> <p>逗子アートフェスティバル2021は、2020年と同様に開催に当たって積極的にオンラインを活用したが、インターネットやSNSを利用しない人（特に高齢者）に向けた広報や企画が少なかった。</p>
--	---

<p>総合計画、基幹計画における位置づけと目標</p>	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、逗子アートフェスティバルが位置付けられている。 ● 目標として「令和4年度までに、逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっており、質の向上が図られている。」としている。 <p>【基幹計画】共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン</p> <p><文化振興事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度における主な事業として「逗子アートフェスティバルを開催する（トリエンナーレ方式による開催）」としている。 ● 目標として「令和4年度までに、逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっており、質の向上が図られている。」としている。 <p><生涯学習講座事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度における主な事業として「生涯学習の各種講座を開設する。ずし楽習塾を開設する」としている。 ● 目標として「令和4年度までに、生涯学習の各種講座が、130講座開設されている」としている。
-----------------------------	---

<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>コロナの影響が続くなか、ホールの自主事業も逗子アートフェスティバルも前年度を上回る参加者があった。特に、逗子アートフェスティバルの開催にあたり、企画運営を担った「逗子アートネットワーク」(ZAN)と、今回は行わなかったが過去のボランティアの活動は、地域文化の担い手の育成に貢献していることが認められる。また、イベント回遊のために導入されたシェアサイクルとの連携は注目できる。さらにZANのメンバーがドクメンタ15に招待されたことを機に、逗子のまちのアートとコミュニティーの在り方をテーマにして行われたパネルディスカッションは、今後の活動に向け有意義であったと考えられる。</p> <p>各種文化関連講座については、社会教育講座の講座数は減少したが、ずし楽習塾の講座ではオンラインの活用等の工夫も見られ、講座数・参加者数ともに増加した。さらに「市民による文化事業への後援、協力」も24件あり、市民の創作・鑑賞行動への欲求の高さを窺わせる。</p> <p>このように、コロナ禍にあっても可能な限り文化に触れる機会を提供し、基幹計画である共育の推進に尽力している点は評価できる。アート便は、今後保育園や高齢者施設等に拡大していくことが望まれるが、感染状況等に応じて検討していく必要があるだろう。また、コロナ禍におけるオンラインの活用は評価できるが、インターネットやSNSを利用しない人（特に高齢者）に向けた広報手段・参加方法や、団塊の世代の地域文化活動への参画機会等が課題となる。コロナの影響は続くと言われるが、当市全体の文化環境向上のため、事業の継続を可能にさせる方法を講じ、取り組んでいただきたい。</p>
---------------	--

施策の柱	(2) 市民文化活動の活性化
市民の文化活動は、心の豊かさや充足感を得るだけでなく、活力に満ちた社会や個性豊かな地域の形成など、様々な形で地域などにも還元されるものと捉え、市民個人や団体それぞれの活動を高め、広げるとともに、文化を通じた公益的な市民活動の支援を図る。	

個別計画での基本施策と令和3年度の事業概要	
① 市民文化活動への支援の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民に文化活動のための場と機会（時間）を提供し、市民と行政の役割を明確にした上で、市民文化活動の活性化のための協働を進めます。 ○ 文化活動をしていく上での相談や助言を行う仕組みや、支援や協働による活動の実現や拡大につながる仕組みを整えていきます。 ○ 文化事業の企画運営について、市民が専門的知識や技術の習得が可能となるよう支援します。 ○ 活動の目標や励みになる事業及び専門性をより高めていくための機会を設けるなど、支援を行います。
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (1) ①再掲) 講座 コンサートの作り方 10月22日(金)、29日(金)に県立逗葉高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、25人参加。ホール事業課担当と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールにおける公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目は公演制作のワークショップを行った。 前)10月19日(月)、26日(月)に逗子高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、20人参加。 ● 絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう2021 おとなのための手作り絵本講座 9月5日(日)、11日(土)、10月16日(土)の全3回開催。35人参加。 ストーリーや挿絵の制作から製本まで一貫して参加者によって行われ、最終回は講座内でのミニ発表会を実施した。また、完成した作品を「図書館おはなし会((3)①参照)」での読み聞かせに使用し、図書館との連携を図った。 前)10月4日(日)、10月25日(日)、11月1日(日)3回開催。33人参加。 ● 【共催】みんなでアート2021 11月12日(金) さざなみホールで開催。173人参加。11月10日(水)～14日(日)には、本番に合わせてギャラリーで展覧会を開催し、延べ285人参加。その他、ギャラリーでの展示作品の制作や、さざなみホールでのファッションショーの衣装制作のワークショップを計7回開催した。
② 市民による市民のための文化振興の仕組みづくり	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人や既存の団体との連携を図りながら、プラットフォームとなる中間支援組織の育成や、文化NPOの支援などにも取り組みます。 ○ 市民自らが企画・参加し、地域文化を振興し、地域を活性化していく仕組みづくりを進めます。 ○ 世代間交流ができるような文化事業を実施します。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバル2021開催を目的とした逗子アートネットワークの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2021の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画をサポートする等の形でメンバーが加わった。Facebookメンバーページ94人参加。 前)Facebookメンバーページ64人参加。 ● 逗子アートネットワーク全体でのミーティング10回、その他に、ZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計20回行った。オンラインミーティングを活用することで、コロナ禍でも適宜情報共有を図ることができた。 前)逗子アートネットワーク全体でのミーティング8回、総合プロデューサーとZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティング13回を行った。 ● 逗子アートネットワークの広報チームは、従来行ってきた広報活動に留まらず、まちや人の魅力を市内外に広く発信することで、逗子アートフェスティバルをきっかけに来訪者を増やすことを目標とした。市民を中心に約20人のメンバーが集まり、イベントの広報の充実を図るとともに、逗子アートフェスティバル関係者へのインタビュー動画を13本制作し、公式YouTubeチャンネルで配信している。

③ 市民参画・協働型事業の充実	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の企画案、運営スタッフの市民公募などにより、市民参画・参加を促進します。 ○ 市民の企画力、運営力をより一層高めていく支援を行います。 ○ 市民主導型のホール自主文化事業を積極的に実施し、事業の充実を図ります。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバルの継続、逗子アートネットワークのメンバーの新規募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル 2021 を開催（（1）②参照）。平成 25 年度（2013 年）のプレアートフェスティバルから 9 回目の開催となった。 ● （（2）②再掲）逗子アートフェスティバル 2021 の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画のサポート等でメンバーが加わった。Facebook メンバーページ 94 人参加。 前 Facebook メンバーページ 64 人参加。 <p>【トモイクフェスティバル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民交流センター主催で、3 月 19 日（土）、20 日（日）開催。延べ 877 人来場。 前 コロナ拡大防止のため 3 月 1 日（月）～31 日（水）でオンライン開催。

※新型コロナウイルス感染症の影響	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● レセプション（Re-Ce）活動の中止。
------------------	---

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】</p> <p>ホール自主文化事業「講座 コンサートの作り方」は、県立逗葉高等学校で総合学習的プログラムの一環として行った。令和 2 年度同様、ホールや公演について関心を得やすい内容とすることで、将来的な市民の文化活動の活性化につながる取組みとなった。</p> <p>「みんなでアート 2021」は、障がいのある方をはじめ、誰もがアートを楽しめるイベントとして開催した。ホールの共催事業とし、本番やワークショップの会場提供やサポート等を行うことで、市民の文化活動への参加の一助となった。</p> <p>逗子アートネットワークは、前年度に引き続き、逗子アートフェスティバル以外にもトモイクフェスティバルで企画を行ったり、広報チームがブースを設けて周知を図る等、期間中に留まらない通年的な文化活動を視野に入れて活動している。</p> <p>【見直すべき点】</p> <p>コロナの影響で中止となったホールの市民企画やボランティア活動について、今後コロナ禍でも市民が安心して参加できるような活動の場を検討していく。</p>
-------------	---

委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>市民が文化活動に対して理解を深めるための講座やワークショップ、また市民参画・協働のための仕組みづくりが、コロナ禍にあっても状況に応じて適切に行われたことが認められる。前年度に引き続き、逗子高等学校 1 年生の総合的学習の一環としてホールで実施された講座「コンサートの作り方」、図書館と連携し手作り絵本講座で完成した作品を読み聞かせする「図書館おはなし会」等、将来的に市民文化活動を担う若い世代への働きかけは重要と考えられる。また、さざなみホールで開催された「みんなでアート 2021」への関心の高さは、アートによる社会的包摂の可能性を示唆するもので、今後も継続されることが期待される。このように、ホールの共催事業として、市民企画者と一緒に障がいのある人を含め、幅広い参加者を得て、ワークショップやギャラリーでの展示等多様な活動をサポートできた点は、市民文化活動の今後の展開にとって貴重な経験だったと思われる。</p> <p>逗子アートネットワーク（ZAN）のメンバーの増加やミーティングの活発化、ZAN の広報チームの努力も評価したい。今後は、世代間交流も視野に、イベントとしてのさらなる展開に期待したい。</p>
--------	--

施策の柱	(3) 文化芸術に接する機会の拡充
<p>条例で定める、文化芸術を創造し、享受することは市民の権利であることを実現するため、すべての市民が文化芸術に触れることのできる機会を提供するように努める。特に、文化事業を企画したり、運営に参画したり、支援する機会や、文化芸術に触れることが困難な市民が気軽に接する機会の拡充を図る。</p>	

個別計画での基本施策と令和3年度の事業概要	
① 鑑賞機会の拡充	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズにあった多彩な鑑賞型事業を実施します。 ○ 市民の企画による事業を募集、協働にて実施します。
実 施 内 容	<p>【ホールによる鑑賞機会の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鑑賞型事業を6件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係3件、伝統文化・古典芸能3件。平均満足度は81.2%。 <ul style="list-style-type: none"> ・11月13日(土) さざなみ亭落語会 三遊亭わん丈&みんなで創る落語会 其の五 ・1月9日(日) 【共催】 逗子落語会 三遊亭円楽・三遊亭白鳥 ・1月22日(土) 藤原道山×SINSKE～尺八とマリimbaによる世界最小オーケストラ～「十年十色」 ・2月12日(土) 【共催】 午後の音楽会～本格クラシックを存分に～ ・2月19日(土) H ZETT M ピアノ独演会 2022 二月一冬 逗子の陣一 ・3月5日(土) 山田姉妹 ソプラノデュオコンサート in 逗子 2022 <p>前 鑑賞型事業を6件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係4件、伝統文化・古典芸能2件。平均満足度は83.7%。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図書館連携事業「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> 12月16日(木) 開催。2～3歳の子どもと保護者対象の「おひざにだっこのおはなし会」(11人参加)と、4～6歳の子ども対象の「わんぱくおはなし会」(24人参加)の中で、おとなのための手作り絵本講座の完成作品をそれぞれ1冊ずつ読み聞かせした。 <p>前 12月17日(木) 開催。「おひざにだっこのおはなし会」10人参加、「わんぱくおはなし会」16人参加。</p>
② 体験や参加、参画機会の充実	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホールにおいて、鑑賞型事業の実施に合わせ、そのテーマに沿った各種講座やワークショップを実施します。 ○ 市内公共施設などにおいて、各種講座事業を実施します。
実 施 内 容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京交響楽団 弦楽四重奏団 0才からのコンサート <ul style="list-style-type: none"> 公演後に指揮者体験コーナーを設け、指揮の振り方を説明した後、来場者が客席で参加する方法で実施した。本来は、ステージ上に代表者が登壇して指揮者体験を行う予定だったが、コロナの影響により、出演者と観客の接触をなくすため、客席での実施とした。 ● 【共催】 逗子次世代育成プロジェクト「和太鼓×アカペラ」LIVE&ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> プログラムの中にリズムワークショップコーナーを設け、曲に合わせて客席ブロックごとにリズム遊びを実施した。本来はステージ上に代表者が登壇し体験を行う予定だったが、コロナの影響により、出演者と観客の接触を無くすために客席での実施とした。 <p>【逗子アートフェスティバル2021】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ((1) ③一部再掲) 自由企画の公募を行い、10企画が参加。 <ul style="list-style-type: none"> 前 自由企画7企画参加。 ● 文化プラザホールや市立体育館等で、作品の一部を制作する参加型ワークショップを開催。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各種講座の実施 ((1) ②参照)。
③ 文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主文化事業の内容に合わせて対象や方法を工夫しながら、PR活動を行います。 ○ 自主文化事業の実施場所をホールに限定せず、積極的にアウトリーチ事業として実施することにより、ホールに来館できない方へも文化・芸術を広めていきます。

実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (一部 (1) ①再掲) アート便 2021 2メニュー (落語、和太鼓) 提供。市立小中学校8校、授業数11件を実施。児童・生徒延べ869人参加。昨年と同ジャンルにプラスし、先生方から要望の多い「音楽」を復活したが、申込みは0件だった。落語、和太鼓の講師には令和3年度もホール公演を行っており、同じアーティストによる継続した取組みにより、アート便の参加者に講師や演目に親しみやすさを感じてもらうことで、ホールやホール公演への関心を高めることにつながった。 <u>前</u>2メニュー (落語、和太鼓) 提供。市立小中学校6校、授業数8件を実施。児童・生徒延べ659人参加。 ● ((2) ①再掲) 【共催】 みんなでアート 2021 11月12日 (金) さざなみホールで開催し、173人参加。11月10日 (水) ~14日 (日) には、本番に合わせてギャラリーで展覧会を開催し、延べ285人参加。その他、ギャラリーでの展示作品の制作や、さざなみホールでのファッションショーの衣装制作のワークショップを計7回開催した。 ● ピエロマイムファンタジー 9月4日 (土) なぎさホールで開催し、244人来場。0歳から入場可能なファミリー公演として、言葉の分からない年齢でも、目で見て楽しむことができた内容となった。 ● 東京交響楽団 弦楽四重奏団 0才からのコンサート 2月12日 (土) なぎさホールで開催し、483人来場。0歳から入場可能なファミリー公演として弦楽四重奏と歌のおねえさんによるコンサートを開催。逗子出身のヴァイオリニスト土屋杏子さんも出演した。
------	---

※新型コロナウイルス感染症の影響	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「東京交響楽団 弦楽四重奏団 0才からのコンサート」内で実施予定だった指揮者体験コーナーの内容変更。 ● ホール共催「逗子次世代育成プロジェクト「和太鼓×アカペラ」LIVE&ワークショップ」のワークショップの内容変更。 ● 「ピエロマイムファンタジー」の定員を半数に変更。
------------------	--

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 <u>b. 概ね順調である。</u> c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】 ホールでは、昨年度に引き続き検温や消毒・換気、マスク着用のほか、一部公演では人数制限や館内での距離の確保等、感染症対策を十分行い、来場者にも周知したうえで鑑賞機会を設けた。「0才からのコンサート」は、コロナ禍でも文化芸術に触れる機会を求めるファミリー層に好評を得たことで、ほぼ完売した。また、市民企画を積極的に取り上げて共催することで、市民の文化活動の場を提供し、ホールとしても事業内容に広がりを持たせることができた。</p> <p>【見直すべき点】 コロナの影響により、出演者と来場者の接触機会が減った。その中でもできることを模索しながら、体験や参加の機会を拡充していきたい。アート便は、学校等からの要望を踏まえてジャンルを検討していきたい。</p>
-------------	--

総合計画、基幹計画における位置づけと目標	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「令和4年度までに、文化プラザホールにおいて、質の高い自主文化事業が実施され、ホール自主事業の入場者アンケートの満足度が90パーセントを超えている。」 「文化プラザホールの入場者（観客）が年10万人以上になっている。」を目標としている。 <p>【基幹計画】 共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン <アウトリーチ活動推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「令和4年度までにアウトリーチ事業の訪問施設が、学校施設だけでなく高齢者福祉施設などでも実施している。」を目標としている。
----------------------	---

<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>コロナ禍以前と比較すると、ホールの自主文化事業数及び観客数は減少しているが、可能なことを模索し、十分な感染症対策を講じて鑑賞機会の拡充・体験型プログラムが実施されたことの意義は大きい。特に、市民企画を積極的に取り上げ、共催事業として事業内容を拡充している点は評価したい。また、0歳から入場可能なファミリー公演の実施は、基幹計画に掲げるアウトリーチ活動の推進を後押しする効果的な取組みだと思われる。いずれの事業も来場者の満足度が高く、コロナ禍で社会全体が閉塞感に包まれるなかで、文化芸術を楽しむ喜びが実感されたことも理由のひとつと考えられる。</p> <p>このように、ホールを中心として様々な文化芸術活動（鑑賞体験や参加、参画等）の機会と場を提供したことは評価できる。今後は、さらに、文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチを考慮し、文化芸術活動に接する機会と、広報の充実を期待したい。</p>
---------------	--

施策の柱	(4) 文化資源の活用による地域づくり
市内に存在する様々な歴史的資産や伝統文化、青い海や緑豊かな自然環境といった環境、逗子ゆかりの作家や芸術家、各分野の専門性や学識経験を持った市民をはじめとする全ての市民を逗子の文化資源と捉え、逗子の持つ文化の力を発揮して、個性と活力ある地域づくりを進めていく。	

個別計画での基本施策と令和3年度の事業概要	
① 逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内に残る伝統文化などの継承を支援します。 ○ 継承すべき文化の中から、どのように継承するかなど、協働により検証していきます。
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状の旧郷土資料館の活用について、社会教育課と緑政課で情報共有を図った。 ● 旧郷土資料館の今後の活用について、市民からの意見等を参考に、引き続き検討している。(緑政課) ● 池子神明社の神輿を市の重要文化財に指定した。(社会教育課) ● 旧正力邸別邸(主屋、蔵、表門)と須藤家住宅(主屋、旧ボイラー室)が、国の文化財登録原簿に登録された。(社会教育課)
② 豊かな自然環境の活用	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 逗子の自然環境についての学習・保全・啓発につながる文化活動を推進します。 ○ 様々な映像作品のロケ地として利用される逗子を、より一層発信していくため、フィルムコミッション事業やロケ地観光などを促進していきます。 ○ 自然環境を活かした文化活動を推進します。
実 施 内 容	<p>【自然の回廊プロジェクト推進事業(経済観光課)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 未設置回廊の逗子海岸回廊内にある逗子海岸ロードオアシスに設置の観光案内看板を「自然の回廊」のコースを紹介する全体マップに更新する工事を行った。 ● 未設置のまんだら堂・名越切通回廊にあるまんだら堂やぐら群、名越切通、大切岸への手作りの案内マップを作成し、入口4箇所とまんだら堂やぐら群内に1箇所設置した。 ● 新たにオープンした観光協会が管理する市のワーケーションホームページに、全回廊を市内周遊モデルコースとして掲載した。 <p>【逗子フィルムコミッション(経済観光課)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影問合せ件数162件、市内での撮影件数38件(うち再放送2件)。エキストラ登録人数157人。 <small>前</small>撮影問合せ件数97件、市内での撮影件数65件、市民エキストラ登録人数154人。 <p>【社会教育講座(社会教育課)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ((1)②再掲)各種講座事業3講座実施(文化芸術関連)。参加者延べ115人。 <small>前</small>社会教育講座5講座実施(文化芸術関連)、参加者延べ150人。(社会教育課)
③ 人的資源の発掘と連携	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に根ざした様々な分野のアーティストや専門家を発掘します。 ○ 様々な人的資源をつなぐネットワークづくりを進めます。
実 施 内 容	<p>【((2)②再掲)逗子アートフェスティバル2021開催を目的とした逗子アートネットワークの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2021の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画をサポートする等の形でメンバーが加わった。Facebookメンバーページ94人参加。 <small>前</small>Facebookメンバーページ64人参加。 ● 逗子アートネットワーク全体でのミーティング10回、その他に、ZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計20回行った。オンラインミーティングを活用することで、コロナ禍でも適宜情報共有を図ることができた。 <small>前</small>逗子アートネットワーク全体でのミーティング8回、総合プロデューサーとZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティング13回を行った。 ● 逗子アートネットワークの広報チームは、従来行ってきた広報活動に留まらず、まちや人の魅力を市内外に広く発信することで、逗子アートフェスティバルをきっかけに来訪者を増やすことを目標とした。市民を中心に約20人のメンバーが集まり、イベントの広報の充実を図るとともに、逗子アートフェスティバル関係者へのインタビュー動画を13本制作し、公式YouTubeチャンネルで配信している。

	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル 2021 ホール主催・共催事業を全3企画開催した。 前ホール主催・共催事業を全5企画開催した。 ● らせんの映像祭ーひかるアート展ー 12月4日(土)、5日(日) さざなみホールで開催し、計255人来場。逗子アートフィルムメンバーによる映像展示会を開催。 ● ((2) ①一部再掲) 【共催】 みんなでアート 2021 11月12日(金) さざなみホールで開催し、173人参加。11月10日(水)～14日(日)には、本番に合わせてギャラリーで展覧会を開催し、延べ285人参加。その他、ギャラリーでの展示作品の制作や、さざなみホールでのファッションショーの衣装制作のワークショップを計7回開催した。 ● 【共催】 逗子の街の音楽会 12月3日(金) なぎさホールで開催し、365人来場。逗子アートフェスティバル 2021の一企画として10月23日(土)～24日(日)に「池子の森の音楽祭」を開催予定だったが、コロナの影響により中止としたため、市内在住の作曲家による振替公演を開催した。 ● ((1) ①一部再掲) おもしろ工作アニメ～マジックンロールを作ろう！～ 「らせんの映像祭ーひかるアート展ー」の関連事業として、逗子アートフィルムによるアニメーションの仕組みを学べるワークショップを12月4日(土)、5日(日)にギャラリーで開催。37人参加。 ● ーソロデビュー10周年記念ー SHANTI Acoustic New Year Concert in Zushi with String Quartet 1月15日(土) なぎさホールで開催し、206人来場。市内出身のSHANTI氏による公演を開催。 ● ((3) ②一部再掲) 【共催】 逗子次世代育成プロジェクト「和太鼓×アカペラ」LIVE&ワークショップ 2月5日(土) なぎさホールで開催し、170人来場。和太鼓グループ彩-sai-が中心となり、逗子に縁のあるアーティストによるプロジェクトとして初めて開催した。共演には、アカペラグループ INSPi のリーダーで市内在住の杉田篤史氏と、市内出身・在住のフラメンコギタリスト東川翼氏を迎えた。 ● 山田姉妹ソプラノデュオコンサート in 逗子 2022 3月5日(土) なぎさホールで開催し、405人来場。平成30年度から逗子市広報大使を務める、双子ソプラノデュオ山田姉妹による公演を開催。 前12月25日(金)「山田姉妹のクリスマスコンサート ～"歌声"で逗子にエールを～」開催。413人来場。 ● (一部(1) ①、(2) ①再掲) 絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう 2021 こども・おとなのための手作り絵本講座 逗子在住の絵本作家山本省三氏が講師を務めた。山本氏は、手づくり絵本講座の前身である手づくり絵本コンクールの初回(平成28年度)から講師を務めている。 ● ホールキャンパス 2021、コロコロキャップの設置 地元アーティスト TAMA 氏を起用し、ホールエントランスのガラス面に瓦版を描く広報活動「ホールキャンパス 2021」を実施した。また、ペットボトルキャップの再利用に向け、TAMA 氏作の回収ボックス「コロコロキャップ」を設置した。
<p>※新型コロナウイルス感染症の影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「未病×自然の回廊ウォーキング～田越川・逗子海岸回廊」(経済観光課と国保健康課の連携事業)の中止。 ● ホール共催「みんなでアート 2021」のワークショップ日程変更。 ● ホール共催「逗子次世代育成プロジェクト「和太鼓×アカペラ」LIVE&ワークショップ」の定員を半数に変更。
<p>自己評価と見直すべき点</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】 ホール共催事業として「逗子次世代育成プロジェクト「和太鼓×アカペラ」LIVE&ワークショップ」を開催した。ジャンルの異なるアーティストによる異色の公演となったが、逗子に縁のあるアーティストによる公演は、来場者が親しみやすいこともあり、集客にもつながった。</p>

	<p>また、逗子アートネットワークのメンバーで市内在住のアーティストが主催するメディアアート展「螺旋の映像祭」を、ホール主催でこども向けの「らせんの映像祭-ひかるアート展」として開催した。逗子アートフェスティバルとの連携で、親子で楽しめるイベントとしたほか、幅広くホールやアーティストの活動を知ってもらえる機会となった。その他にも、逗子に縁のあるアーティストによる公演等を行うことで、逗子の文化資源の活用につなげることができた。</p> <p>【見直すべき点】</p> <p>地域に根差したアーティストの公演の中には、集客に結びつきにくい公演もあるため、周知方法等を見直し、広く公演を知ってもらい、ホールを訪れてもらえるよう検討する。文化資産の活用等については、関係課での情報共有は行っているが、具体的な取組みには至っていない。</p>
--	--

<p>総合計画、基幹計画における位置づけと目標</p>	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、自然の回廊プロジェクトが位置付けられており、「令和4年度までに、道標や説明板の設置済みコースが100%となっている」ことを目標としている。
-----------------------------	---

<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>ホール事業や逗子アートフェスティバルにより、逗子に縁のあるアーティストの公演や活動を広げ、活用しており、人的資源の発掘や、事業間の連携が推進されていることが窺われる。今後は、「アート（音楽も含め）」以外の分野、例えば伝統的な文化の面での人的資源の発掘や活用にも取り組んでもらいたい。</p> <p>「豊かな自然環境の活用」では、「自然の回廊」プロジェクトで案内マップの改善や観光協会ホームページへの周遊コースの掲載等、一定の進捗も見られた。逗子の自然と結びついた文化資源の豊かさに目を向け、市民参加型の様々な活動を展開している点を高く評価したい。</p> <p>「歴史的資産、伝統文化の継承と発展」に関しては、新たに市の重要文化財指定（池子神明社の神輿）や国の文化財登録（旧正力邸別邸、須藤家住宅）が実現し、市民の関心も高まっていくことが期待される。一方で、それらの今後の活用について、複数の所管課間の情報共有や連携が進んでいるようには思えないため、さらに具体的な取組みに期待したい。</p>
---------------	---

施策の柱	(5) 文化情報の収集と活用
<p>情報による文化の活性化を目指し、市民だれでもが容易に市内・市外の文化情報を手に入れることができるような情報流通の仕組みを構築し、新しい情報メディアへの対応を図る。また、逗子の文化資源に関する情報として、文字情報だけでなく映像や音源などを集積して、活用できる仕組みを検討する。</p>	

個別計画での基本施策と令和3年度の事業概要

① 情報の収集・発信	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他市の文化施設での催しなどの情報をホール及び市民交流センターでも手軽に取得できるよう情報の収集に努めます。 ○ 各メディアに積極的に情報発信を行います。 ○ 新しいメディアを活用した情報提供の検討を行います。
実施内容	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オンラインやSNS (Facebook、Twitter、Instagram) での情報発信 情報掲載用アプリ (チラシクラシック、チラシステージ) や、情報サイト (ぶらあぼ) に公演情報やチラシを掲載したほか、今年度新たにホットペッパーフリーマガジンや mamamoana へ掲載し、情報発信を強化した。 ● 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の待機場所におけるチラシラックの設置 隣接する市民交流センターが新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となったことに伴い、会場にホールの広報も兼ねてチラシラックを設置し、日頃ホールに訪れる機会がない人にもホールについて知ってもらえるよう周知を図った。また、施設案内と、自主文化事業「和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演」のダイジェストをまとめたDVDを作成し、会場内で配信した。 ● ホール&ギャラリーニュース 年間3回、各10万5千部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町(横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部)へは、新聞折込により配布。また、サポート会27ヶ所、他館107館等に持参や郵送で配架を依頼。 <u>前</u>年間4回、各11万部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町(横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部)へは、新聞折込により配布。また、サポート会34ヶ所、他館112館等に持参や郵送で配架を依頼。 ● イベントカレンダー 令和2年度までホール&ギャラリーニュース5・6面に掲載していた催物情報について、読みやすくタイムリーな情報を提供するため、令和3年4月号から単ページで毎月発行を行い、市内公共施設を中心に配架した。 ● その他の媒体での情報発信 広報ずし、子育てわくわくメールマガジン、ナニスル、マグカルカレンダー(県情報誌)、イベントバンク(情報配信サイト)、「逗子・葉山に暮らす子育て世代のサイト『海山時間』〜」、mamamoana(新規)、ホットペッパーフリーマガジン、ラジオ等で、自主文化事業の情報発信を行った。 また、市役所のホール用ラック、市内掲示板、PR-BOX、交流センターラックを活用して情報発信した。 ● 近隣他館との連携 近隣他館の催し物や情報誌を配架した。また、委託チケットの取扱いも行った。 ● ホールキャンパス2021 ホールエントランスのガラス面を使った瓦版として展開し、ホールに関する情報発信を行った。 ● 研修会への参加 1月13日(木)、14日(金)に全国公立文化施設協会主催でオンライン開催された「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会」に参加した。13日には「障害者文化芸術活動の推進に向けて踏み出す初めの一歩」として、障がい者と健常者が共同して舞台製作を行う施設の参考事例の共有とディスカッションを行った。14日には「劇場・音楽堂等職員の労務管理を考える」として、ある3施設の具体的な試みの共有を行った。

② 情報のネットワークづくり	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際的な文化交流なども視野に入れ、近隣市町などの公共ホール、劇場、美術館、アートイベントなどとの連携を模索します。 ○ 市内の文化活動団体の交流支援をしていきます。
実施内容	<p>【情報のネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共育ポータルサイト「ナニスル」を引き続き運用。令和3年度末現在参加団体数 696 件。(市民協働課) <small>前 令和2年度末現在参加団体数 682 件。</small> <p>【(一部(1)②再掲) 市民による文化事業への後援、協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共催・協力・後援に伴い、市内広報板へのチラシ掲出を行い、事業の周知を図った。 協力2件、後援22件 合計24件 (うちコロナ拡大防止のため1件中止) <small>前 共催1件、協力6件、後援20件 合計27件 (うちコロナ拡大防止のため13件中止、1件延期)</small>
③ (仮称) 逗子アーカイブスの構築	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 点在する文化資源情報の収集・整理を進めるための基盤づくり (収集・整理に必要な知識や情報の蓄積など) を、市民と協働で行います。 ○ 文化資源情報の収集・整理の方法について検討します。 ○ 文化資源情報を整理し、将来的にはデジタル化、アーカイブ化により、市民が活用しやすい環境づくりにつなげます。
実施内容	<p>【逗子フォト事業 (企画課)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市ホームページでの写真公開枚数は、令和4年6月17日現在 2,595 枚。 <small>前 令和3年6月15日現在 2,413 枚</small> ● 令和3年度から、市庁舎市民ホールに、通年で逗子フォトの写真の一部展示している。 ● 令和元年7月から、逗子フォトの利用を拡大するため、運用ポリシーを変更。営利目的利用に係る事前の申請を不要としている。

※新型コロナウイルス感染症の影響	<ul style="list-style-type: none"> ● ホール&ギャラリーニュースの発行回数減 (年4回→3回) と紙面の見直し。
------------------	---

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	<p>【自己評価】 ホールは、SNS の情報発信強化として、各 SNS の投稿数を増やす等、フォロワー数の増加に向けて注力した。また、新たに湘南エリアの子育て web マガジン「mamamoana」や、ホットペッパーフリーマガジンを活用した公演周知を行った。</p> <hr/> <p>【見直すべき点】 さらなる SNS の活用と、年齢層に合わせた情報発信を検討していく。 「(仮称) 逗子アーカイブス」については、逗子フォト事業との将来的な連動という形で検討することとなっているが、具体的な動きには至っていない。逗子フォト事業についても、市ホームページや市庁舎での写真の公開に留まっている。</p>

総合計画、基幹計画における位置づけと目標	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、共育ネットワーク構築事業が位置付けられている。 ● 「令和4年度までに、子どもを対象にした『共育』の講座に参加する子どもが年間延べ2,000人になっている」「『共育』に関するポータルサイトに参加している団体が200団体になっている」「生涯学習グループ・サークルの届出(登録)が250件になっている」「生涯学習関連情報の窓口が一本化されている」を目標としている。
----------------------	--

	<p>【基幹計画】共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン <共育ネットワーク構築事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和元年度における主な事業として「共育ネットワークシステムを運営する」「子ども対象講座事業を実施する。（立ち上げ、運営）」としている。 ● 「令和4年度までに、子どもを対象にした『共育』の講座に参加する子どもが年間延べ2,000人になっている。」を目標としている。
--	--

委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>市民がいつでも容易に、市内・近隣の文化情報を入手できる環境を整備することは重要である。その一つとして、デジタル技術を駆使した情報の収集と活用は大いに有効であり、ポータルサイトや情報掲載用アプリ、各種 SNS を用いたオンラインを運用した情報ネットワークの構築等により情報の発信に注力されていることは評価できる。また、地元ローカルメディアをはじめとするアナログ媒体での情報発信も評価したい。</p> <p>一方で、情報の収集や活用分野ではあまり進捗が見られず、ここ数年間の懸案事項である「(仮称) 逗子アーカイブスの構築」に関しては、逗子フォト事業の展開も含めてほとんど新展開が見られない。アーカイブスの構築には時間と工夫を要するが、将来的にどのような「収集と活用」ができるようにするか、関係機関等と検討を重ねてもらいたい。</p>
--------	--

施策の柱	(6) 文化振興のための環境づくり
近隣市町などとの連携を視野に入れ、行政における推進体制の整備を行うとともに、ホールをはじめとする既存の施設の維持管理に努め、市民による自主的かつ主体的な文化活動が行える環境づくりを目指す。	
個別計画での基本施策と令和3年度の事業概要	
① 行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備	
目標	○ 文化振興所管課を中心として、関係部署との協力・連携を強化します。 ○ 文化を軸とした、行政の一体的、組織横断的な推進体制の確立を目指します。
実施内容	【ホール】 ● 指定管理者に対するモニタリングを毎月実施。(文化スポーツ課) 【((4) ①再掲) その他】 ● 現状の旧郷土資料館の活用について、社会教育課と緑政課で情報共有を図った。 ● 旧郷土資料館の今後の活用について、市民からの意見等を参考に、引き続き検討している。(緑政課) ● 池子神明社の神輿を市の重要文化財に指定した。(社会教育課) ● 旧正力邸別邸(主屋、蔵、表門)と須藤家住宅(主屋、旧ボイラー室)が、国の文化財登録原簿に登録された。(社会教育課)
② 施設・設備の充実など	
目標	○ ホールの管理運営について、多くの市民の意見を取り入れながら、改善を図ります。 ○ バリアフリーやユニバーサルデザインなど、誰もが利用しやすい環境づくりのため、施設や設備の計画的な修繕・改修に努めます。 ○ まちなかに点在する空きスペースや休眠中の市の施設などの情報収集・発信に努めます。
実施内容	【ホール】 ● 舞台吊物機構制御更新工事、自動制御機器更新工事、吸収冷温水機(R-1)分解整備工事、光回線敷設等整備工事等を実施した。光回線敷設等整備工事は当初予定していなかったが、コロナ禍における新たな鑑賞等の機会の提供と利用拡大を図るため、補正予算で実施した。(文化スポーツ課) ● 駐車場の表示灯の更新工事や、1階多機能トイレの開閉ボタン交換工事等、利用者の利便性を図るための修繕等を適切に実施した。 ● 令和3年度の貸館利用者満足度は「とても満足」「満足」を合わせて71.5%。 前 令和2年度の貸館利用者満足度は「とても満足」「満足」を合わせて83.3%。 ● コロナによる臨時休館中は、利用料金の振込や支払時期の猶予、電話での打合せ等、柔軟に対応した。 ● 来館時の滞在時間が短縮できるよう、ホール公式ウェブサイトにも各種様式を掲載した。
③ 近隣市町との交流・連携	
目標	○ 文化プラザが地域の文化活動、創造的活動の拠点となり、他の近隣市町との交流・連携を進めます。
実施内容	【((4) ③再掲) ホール】 ● 逗子アートフェスティバル2021 ホール主催、共催事業を全3企画開催した。 前 ホール主催・共催事業を全5企画開催した。 ● ホールキャンパス2021、コロコロキャップの設置 地元アーティストTAMA氏を起用し、ホールエントランスのガラス面に瓦版を描く広報活動「ホールキャンパス2021」を実施した。また、ペットボトルキャップの再利用に向け、TAMA氏作の回収ボックス「コロコロキャップ」を設置した。

※新型コロナウイルス感染症の影響	【ホール】 ● 緊急事態宣言中は原則臨時休館とし、新規予約を停止(予約済みの利用のみ時間制限を設けて利用可)。まん延防止等重点措置対象区域となった際は、開館時間や利用人数等を制限して開館。その他の期間も、市内の感染状況等に応じて一部利用制限のうえ開館。
------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度中の貸館利用の利用料金還付件数15件、振替件数86件。 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度中の貸館キャンセル数302件、うち利用料金還付件数173件。 ● 光回線敷設等整備工事の実施。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 神奈川県立近代美術館葉山との連携による美術講座（社会教育課）の中止。
--	--

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	<p>【自己評価】</p> <p>ホールは、市内在住のアーティストと連携し、1階のガラス面を効率的に活用し、公演情報等を発信した。また、コロナ対策として、館内での検温・消毒・換気の実施や、利用者への消毒セットの貸出等、施設を安心して利用できるように適切に対応した。コロナの影響により、利用者にとっては様々な制限下での利用となったこと、施設予約システムが変更になったこと等により、ホール貸館利用者アンケートによる満足度は低下したが、状況に応じて柔軟な対応を心掛けた。</p> <hr/> <p>【見直すべき点】</p> <p>文化振興所管課を中心とした関係部署との協力・連携については、各部署の事業の情報共有に留まっている。近隣市町との連携については、既に連携している施設以外との連携に向けた具体的な取組みを検討する必要がある。</p>

総合計画、基幹計画における位置づけと目標	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「2022年度（平成34年度）までに、ホール貸館利用者アンケートによる満足度が「良い」が75パーセントになっている。」を目標としている。 <p>【基幹計画】 共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン <文化プラザホールの維持管理事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「令和4年度までに、中長期的改修計画に基づいた施設の改修工事を実施する。」を目標としている。
----------------------	--

委員会の評価	a. 順調である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	<p>ホールにおけるコロナ対策（利用者への消毒セットの提供も含め）は十分に講じられている。さらに、コロナ禍での利用者の利便性向上のため、光回線敷設等のホール利用者への新サービスを進められたことは評価できる。また、地元アーティストの協力を得てエントランスのガラス面を活用した広報「ホールキャンパス2021」や、資源の再利用を呼びかける「コロコロキャップ」の設置等、ホールの有効活用に向けた新たな取り組みは、賑わいの創出につながるものと思われる。</p> <p>毎月実施しているホール指定管理業務に対するモニタリングについては、運営状況や課題を指定管理者と共有し、解決に向けて協議していることは評価できる。今後も施設の利用制限等が続くことが予想されるが、利用者の安全を第一に方法を検討し、柔軟に対応してほしい。</p> <p>また、ホールには、地域の文化活動の拠点として、さらなるバリアフリー化や、ユニバーサル・デザインの導入等に配慮した環境づくり、近隣市町や庁内の関係部署等との連携が望まれる。しかし、現状はこれらが十分進んでいるとは言えず、今後の課題である。</p>

参考資料

1. 逗子文化プラザホール 令和3年度自主文化事業

分類	事業名	実施日時	会場	チケット料金	対象 / 定員	入場者数 (入場率)	備考 (チケット販売枚数または申し込み人数)
1	トモイク 絵本作家 山本省三さんと 一緒に絵本をつくらう2021 こどものための手作り絵本講座 おとなのための手作り絵本講座	こども： 6月19日(土) 7月11日(日) 7月31日(土) 8月28日(土) おとな： 9月5日(日) 9月11日(土) 10月16日(土)	さざなみホール	参加費 2,000円	小学生以上 /70人 中学生以上 /35人 *先着順	こども： 68人 (97.1%) おとな： 35人 (100%)	こども：午前35人、午後33人 (7月3日気象情報発表により8月28日に変更)
2	トモイク 手作り絵本のミニ展覧会	12月24日(金) ～27日(月)	ギャラリー	—	—	110人	こども：13作品展示 おとな：10作品展示 *こども：緊急事態宣言発出のため延期。おとなのミニ展覧会と同時開催。 *12月16日開催図書館連携事業「おはなし会」を開催。 おひざにだっここの会11人、わんぱく会24人参加。
3	社会的包摂 ピエロマイムファンタジー	9月4日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 おとな 前売 1,500円 (当日 1,800円) こども 前売 500円 (当日 800円)	275人	244人 (88.7%)	[招待2人含む] 最終券売数：274枚 *0才からチケット必要
4	まちづくり アウトリーチ アート便2021	9～3月開催	市内小中学校	—	—	①88人 ②75人 ③96人 ④118人 ⑤108人 ⑥77人 ⑦131人 ⑧176人 計869人	和太鼓(和太鼓グループ彩-sai-) ①9月9日(木) 沼間小学校3年生(1) ②11月15日(月) 小坪小学校6年生(1) ③12月9日(木) 池子小学校4・5年生(1) ④12月14日(火) 久木小学校6年生(2) ⑤2月21日(月) 逗子中学校3年生(1) 落語(三遊亭わん丈) ⑥11月18日(木) 沼間中学校2年生(1) ⑦2月3日(木) 逗子小学校5年生(2) ⑧2月22日(火) 久木中学校3年生(2)
5	トモイク 和太鼓グループ彩-sai- 逗子公演Vol.3 この世を自覚めさせる音。	10月9日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売 3,000円 (当日 3,500円) 高校生以下 前売 2,000円 (当日 2,500円)	496名	449人 (90.5%)	[招待10人含む] 最終券売数：456枚 *未就学児入場不可
6	まちづくり 講座「コンサートの作り方」	10月22日(金) 10月29日(金)	逗葉高等学校	—	1年生	—	1年生25人受講
7	社会的包摂 みんなでアート2021	11月12日(金) 13:00開演	さざなみホール ギャラリー	8月7日ワークショップ 参加費 4,000円 8月8、9日ワークショップ 参加費 500円 11月12日映画『道草』上映 全席自由 1,000円	8月7日： 30人 8月8日、9日： 30人 11月12日： 未定	8月7日： 30人 (100%) 11月10日～14 日： 285人 11月12日： 173人	ワークショップ ①6月19日(土) ②7月10日(土) ③8月7日(土) ④9月11日(土) ⑤9月18日(土) ⑥10月4日(月) ⑦10月30日(土) ギャラリー展示 11月10日(水)～14日(日) *新型コロナウイルス感染症の影響により、7月31日、8月8日、8月9日のワークショップ中止。
8	鑑賞 【さざなみ落語会】 三遊亭わん丈& みんなで創る落語会 其の五	11月13日(土) 14:00開演	さざなみホール	全席自由 2,000円	120人	70人 (58.3%)	[招待2人含む] 最終券売数：68枚 *未就学児入場不可
9	地域資源 共催 逗子の街の音楽会	12月3日(金) 18:00開演	なぎさホール	全席自由 前売 3,000円 (当日 3,500円)	529名	365人 (69.0%)	*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した、逗子アートフェスティバル企画「池子の森の音楽祭」(10月23日、24日)の振替公演。
10	地域資源 らせんの映像祭 -ひかるアート展-	12月4日(土) ～5日(日)	さざなみホール	参加費 おとな 前売 500円 (当日 800円) こども 500円	—	255人	[招待60人含む] 最終券売数：201枚 *3才からチケット必要
11	トモイク おもしろ工作アニメ ～マジックンロールを作ろう!～	12月4日(土) ～5日(日)	ギャラリー	参加費 1,000円 (こども展示入場券付き)	小学生 /200人	37人	最終券売数：38枚

分類	事業名	実施日時	会場	チケット料金	対象 / 定員	入場者数 (入場率)	備考 (チケット販売枚数または申し込み人数)
12	鑑賞 共催 逗子落語会 三遊亭円楽・三遊亭白鳥	1月9日(日) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 前売 3,800円 (当日 4,500円)	551人	299人 (54.3%)	最終券売数：311枚 *未就学児入場不可
13	地域資源 -ソロレビュー10周年記念- SHANTI Acoustic New Year Concert in Zushi with String Quartet	1月15日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 3,500円	551人	206人 (37.4%)	[招待19人含む] 最終券売数：191枚 *未就学児入場不可
14	鑑賞 藤原道山×SINSKE ～尺八とマリンバによる世界最小 オーケストラ～「十年十色」	1月22日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 3,500円 高校生以下 2,000円	551人	197人 (35.3%)	[招待2人含む] 最終券売数：211枚 *未就学児入場不可
15	地域資源 共催 逗子次世代育成プロジェクト 「和太鼓×アカベラ」 LIVE&ワークショップ	2月5日(土) 15:00開演	なぎさホール	全席指定 前売 5,000円 (当日 5,500円)	244人	170人 (69.7%)	最終券売数：113枚(ホール販売分) *未就学児入場不可
16	社会的包摂 0才からのコンサート 東京交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	2月12日(土) 11:00開演	なぎさホール	全席指定 おとな 前売 1,500円 (当日 1,800円) こども 前売 500円 (当日 800円)	551人	483人 (87.7%)	[招待19人含む] 最終券売数：510枚 *0才からチケット必要
17	鑑賞 共催 午後の音楽会 ～本格クラシックを存分に～	2月12日(土) 15:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 3,000円 学生(小学生～24才) 1,000円	551人	76人 (14.7%)	最終券売数：58枚(ホール販売分) *未就学児入場不可
18	鑑賞 H ZETT Mピアノ独演会2022 二月 -冬 逗子の陣-	2月19日(土) 15:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 4,000円 高校生以下 2,500円	539人	394人 (73.1%)	[招待6人含む] 最終券売数：404枚 *3才以下入場不可
19	鑑賞 山田姉妹 ソプラノデュオコンサート in 逗子2022	3月5日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売 2,500円 (当日 3,000円) 高校生以下 前売 1,500円 (当日 2,000円)	525人	405人 (77.1%)	[招待7人含む] 最終券売数：440枚 *未就学児入場不可
20	トモイク 共催 第3回駅前青席 in 逗子文化プラザホール	3月16日(水)	なぎさホール	入場無料	市民 65歳以上 /210人	197人 (93.8%)	
21	トモイク 共催 トモイクフェスティバル2022	3月19日(土) 20日(日)	なぎさホール さざなみホール ギャラリー	—	一般	877人	
	鑑賞 伝統芸能(お笑い LIVE)						新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止

2. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、逗子市文化振興条例（平成21年逗子市条例第15号）第7条第1項の規定に基づき、逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査及び評価を行い、その結果を教育長に提言する。

- (1) 逗子市文化振興基本計画（以下「基本計画」という。）における施策に関する適切な実施に関すること。
- (2) その他基本計画に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 公募による市民
- (2) 学識経験を有する者
- (3) その他教育長が特に必要であると認める者

2 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、専門的事項について学識を有する者、市職員その他の者に対し、その出席を求めて意見又は説明を聴くことができるほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、文化スポーツ課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(招集の特例)

- 2 委員会の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

3. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会 名簿

役職	委員氏名	団体名、所属等
委員長	伊藤 裕夫	学識経験者（元富山大学芸術文化学部教授）
副委員長	富岡 幸一郎	学識経験者（鎌倉文学館館長）
	山崎 稔恵	学識経験者（関東学院大学教授）
	奥野 花代子	（市民）

（敬称略）

4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程

第1回

開催日時：令和4年7月4日（月）15時00分～

開催場所：市役所第2会議室

出席委員：伊藤裕夫委員長、富岡幸一郎副委員長、山崎稔恵委員、奥野花代子委員

議題：（1）令和3年度事業に関する評価の対象、方法について

（2）令和4年度事業について

（3）その他

第2回

開催日時：令和4年9月21日（水）10時00分～

開催場所：市役所第3会議室

出席委員：伊藤裕夫委員長、山崎稔恵委員、奥野花代子委員

議題：（1）令和3年度事業に関する評価について

（2）その他

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会
令和3年度事業に関する評価報告書

発行 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会
発行日 2022年（令和4年）12月
編集 逗子市市民協働部文化スポーツ課
〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5-2-16
TEL: 046-873-1111 FAX: 046-873-4520
E-mail: bunkasports@city.zushi.lg.jp